

2020年6月1日

ご来院の皆様へ

“かかりつけ医”をもちましょう

～症状が安定した患者さんは、かかりつけ医へご紹介いたします～

私たち北里大学病院(以下、「当院」という。)には、特定機能病院として高度で先進的な医療の提供、新しい医療技術の開発と研究、及び優秀な医療人を輩出するための教育と研修を実施する能力が求められています。加えて私たち医療圏の基幹病院としての役割を果たすべく、地域の『かかりつけ医(病院・診療所の先生方)』との連携を深めつつ、役割分担を明確にし、質の高い適切な医療を患者さんに提供するための病院運営に努めております。

当院が高度で先進的な医療を継続して提供していくためには、『かかりつけ医』と当院がそれぞれの役割のもとで連携・協力していくことが重要と考えています。当院では、精密検査や高度な治療が必要な時、また入院治療が必要な時は、日頃から健康状態や病状を把握し、通院治療を行っている『かかりつけ医』にご相談いただき、紹介状をもって受診することをお勧めしています。一方、急性期治療後の症状が安定された患者さんには、お住いの地域で必要な医療を継続いただける医療機関へ積極的に当院から紹介(逆紹介)させていただくことを原則としております。治療方針や処方内容が決まり、病状が安定した患者さんには、担当医師より紹介元の『かかりつけ医』、あるいはご希望の地域の医療機関への逆紹介を提案させていただきますので、あらかじめご了承いただきます。

なお、逆紹介後の『かかりつけ医』での治療において病状に変化があった場合には、『かかりつけ医』からの紹介状をご持参ください。当院医師が引き続き『かかりつけ医』と連携して検査・治療をさせていただきますので、ご安心ください。

これからも当院は、患者の皆さまの『かかりつけ医』と緊密な協力体制を整えながら、大学病院の最大の使命である高度で先進的な医療と地域医療への貢献の両立を目指し活動していく所存ですので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

病院長